

7/10 10:50

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

		平成23年 7月10日 (第367報) 発信時刻 9時40分	
経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、富岡町長 殿		通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代) ()	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。			
原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 8月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 9時00分)	天候: 晴れ 風向: 方位 南東 ※ 風速: m/s 1.6 ※ 大気安定度: A (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置	/	

※風速が0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

1号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (7/10日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/10日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.06 (kg/cm ² g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	24.0 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	5800 mm SHC 広域帯 燃料頂部から → 9796 mm
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↘	4.0 (kg/cm ² g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項 ↘	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24 °C RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2号機

機式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (7/10日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射線物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射線物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/10日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.06 (kg/cm ² g (MPa(gage))) 上昇・下降・ <u>安定</u> 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	24.8 °C 給水ノズル温度 RHRH*(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	5860 mm SHC 法域帯 燃料頂部から → 10046 mm
外部電源	受電 <u>有</u> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 <u>有</u> 無
余熱除去系の機能維持	<u>正常</u> ・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・ <u>未作動</u>
ECCSの作動・低圧系	作動・ <u>未作動</u>
全ての制御棒挿入	<u>挿入</u> ・未挿入
ボロン添加	添加・ <u>未添加</u>
主蒸気隔離弁の閉止	<u>閉</u> ・開
格納容器の隔離状態	<u>隔離</u> ・非隔離
格納容器圧力 ↘	5.1 (kg/cm ² g (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動・ <u>未作動</u>
その他の特記事項 ↘	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

3号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (7/10日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/10日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² g (MPa(gage))) 上昇・下降(安定), 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) \	28.3 °C 給水ノズル温度 RHR(H)系入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 ↗	4150 mm SHC 広域帯 燃料頂部から 8346 mm ↗
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 →	9.40 (kg/cm ² g (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項	→ 冷温停止中 サプレッションプール水温度 27 °C RHR(H)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

4号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (7/10日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/10日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	26.8 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位	4050 mm SHC 広域帯 燃料頂部から 8246 mm
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の開止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	6 (kg/cm ² g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28 °C RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(10 日 9 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(10 日 9 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(/ 日 時 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 2.5 μ Sv/h, 2号機 : 3.6 μ Sv/h
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.6 μ Sv/h, 4号機 : 4.8 μ Sv/h
	Rw/B : 2.1 μ Sv/h

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
γ線空間線量率	8 時 10 分	1.6 μ Sv/h	1.3 μ Sv/h	1.8 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.4 μ Sv/h	1.2 μ Sv/h	
	8 時 20 分	1.6 μ Sv/h	1.3 μ Sv/h	1.8 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.4 μ Sv/h	1.2 μ Sv/h	
	8 時 30 分	1.6 μ Sv/h	1.3 μ Sv/h	1.8 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	1.4 μ Sv/h	1.2 μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
中性子線 空間線量率	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h
α汚染濃度	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空間がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(10 日 9 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.5 cps, 2号機: 3.7 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 2.5 cps, 4号機: 4.8 cps
	Rw/B: 2.2 cps

固定式モニタリング設備地点		MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
γ線空間線量率	設備地点名							
	8 時 40 分	1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	1.2 μSv/h
	8 時 50 分	1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	1.2 μSv/h
	9 時 00 分	1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.7 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	1.2 μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。